

第8回 京都環境賞



今年度は、応募総数51件の中から京都環境賞、特別賞及び奨励賞の受賞者を決定しました。



京都環境賞

株式会社 王将フードサービス 代表取締役社長 大東 隆行

「餃子の王将」オンリー1エコプロジェクト

地球温暖化防止対策として、店舗の太陽光発電装置、太陽熱給湯システム、高効率ヒートポンプ給湯システム等を設置し、また、廃棄物削減対策として、独自のリサイクルシステムを構築し、食品残渣の再資源化、使用済み割り箸の燃料化等にも取り組まれました。

また、環境保全活動のみならず、講演会で同社の取組事例発表や地元企業との関係・協力体制の構築を図る等の功績も評価されました。



特別賞／市民活動賞

梅津まちづくり委員会 委員長 中川 義和

まちづくりにおける環境づくり

有栖川の多自然型川づくりに参画して、親水公園での水質浄化、多様な生物との共生をはかる活動のほか、美化活動や大気観測、野草、野鳥観察会を積極的に行ない、地域への愛着が深まる活動を継続的に取り組まれました。

また、美化活動にとどまらない様々な地域活動が評価されました。

「多自然型川づくり」で川と公園を大階段で一体化。水辺環境保全の拠点として、住民の交流と憩いの場として創出



「我が家から我がまちから、ゴミを出さない、つくらない」家庭から出る生ゴミを堆肥化

